

公益財団法人日仏会館 事業報告
2023 年度（自 2023 年 4 月 1 日 至 2024 年 3 月 31 日）

日仏会館は 2024 年 3 月 7 日に創立 100 周年を迎えた。これを記念して、2023 年 4 月より 2 ヶ年に渡り 100 周年記念事業を実施しており、今年度はその一年目だったが、記念の年に相応しいイベントを数多く開催することができた。日仏シンポジウムとして、日仏会館の創立者の一人である渋沢栄一を取り上げたシンポジウム「渋沢栄一とフランス」や、「日仏芸術交流の 100 年」、日仏文化講座として、「ボワソナードの日本法、そして比較法の現状と未来」等、イベントの規模・内容共に充実した内容となった。また、フランス音楽のタベ「日仏文化交流に尽力した作曲家たち」では、東京文化会館を会場として、多くの聴衆に参加頂くこともできた。会誌『日仏文化』も 100 周年記念号として、日仏会館の 100 年の歴史を概観できる内容で準備を進めて来たが、2024 年 4 月に発刊となる。また、日仏会館が企画する各イベントを文化的な資産と考え、これをデジタル・アーカイブ化し、直接イベントに参加できなかった方々を含め、日仏の文化に興味を持つ多くの方々に利用して頂くような新たな仕組みを模索している。このアーカイブ化と連携する形で、ウェブサイトの刷新を進めている。全面的な改訂となるため準備に時間を要しているが、現在、具体化に向けて専門業者との打ち合わせを重ねており、2024 年中頃に公開できることを目指している。デジタル・アーカイブ化の実現に当たっては、2023 年 11 月より 100 周年を記念した寄附の募集を開始しており、多くのご賛同を得ているところだが、2024 年度も引き続き募集を継続しご協力をお願いしていきたい。5 月のコロナウイルスの感染症法上の 5 類移行を経て、イベント開催を、これまでのオンライン開催から、対面開催を中心とする方向に舵を切った。対面とオンラインの両面を活かした、いわゆるハイブリッド開催も継続しているが、イベント毎に適した開催方法を模索している。対面での開催が必須であるフランス語コンクールは、3 年ぶりに日仏会館ホールで決勝大会を開催することができ、成功裡に終えることができた。

日仏会館の財政基盤は、会費収入を始め、有価証券の運用や、不動産の賃貸収入に負っているが、コロナ禍によって休止していたホール・会議室等のレンタルは、コロナ 5 類移行を受けて、2023 年 5 月より貸出を全面再開したものの、コロナ前の収益水準確保には至っていない。また、比重の大きい有価証券の利金収入は、昨今の円安や金利上昇によるプラスの効果はあるものの、外貨建ての運用が中心であり、安定的な収入基盤と言える状況ではない。一方、昨年度の新規テナント入居は収益改善に寄与しており、今後も立地や集客力等の検討を含め、建物の有効活用を軸に財政基盤充実を図っていく。以下、2023 年度の事業報告について重点項目を説明し、次いで具体的事業内容につき述べることとする。

－重点項目－

1. 会館事業の充実

今年度より 2 ヶ年に渡り、100 周年記念イベントを順次開催している。会館ホールに直接足を運ぶホール参加数の減少が懸念されたが、オンライン開催から対面開催に軸を移して展開していることもあり、まずまずの参加者数を確保している。

2. 日仏の関連諸団体との共同・支援事業

コロナ禍の影響により、地方日仏協会との交流旅行や、新年会等の開催を中止とせざるを得なかったが、6 月には全国の日仏協会の代表者による会合を設けることができた。また、3 月には 100 周年記念式典を開催することができ、会員の方々をはじめ、多くの関係者と共に記念の年を祝うことができた。関連団体とのネットワーク維持並びに新たな関係構築が肝要と認識しており、イベントの共催や広報協力を含め、協力関係を拡げていきたい。

3. 広報の充実

イベント告知冊子「Prochainement」並びに、メールニュースの改良を試みている。定期刊行物『日仏文化』については、研究者を含む多くの方々の利便性を考慮し、更に進んだ電子化を進めている。ウェブサイトや会報「ヌーヴェル」の充実を図ると共に、SNS を活用した広報の拡充に取り組んでいる。

4. 事務局体制の強化

事務局業務は多岐に渡り、これに対応できるような体制作りを心掛けると共に、引き続き各職員のスキル向上を図る予定である。

5. 個人・法人賛助会員増加策の検討

財政基盤の強化には、個人・法人賛助会員の増強並びに寄附金の増強が不可欠である。個人・法人賛助会員ともに漸減傾向が続いており、これに歯止めを掛けるべく、会員に魅力のあるイベント・セミナーの開催などを模索している。

－具体的事業内容－

1. 公益事業1：日仏両国の文化・学術研究に関する交流促進及び講演会・シンポジウム・出版物等を通じた研究成果の普及事業

<学術文化事業関連>

(1) シンポジウム・文化講座

① 日仏シンポジウム

1) 「日仏芸術交流の100年——建築、音楽、庭園、写真、映像」<100周年記念事業>
(2023年12月2日(土)、3日(日) ホール、オンライン)

登壇者：三浦 篤(大原美術館館長)、中島智章(工学院大学)、藤森照信(江戸東京博物館館長)、倉方俊輔(大阪公立大学)、船山信子(元上野学園大学学長)、野平一郎(東京音楽大学学長)、ヴェロニク・ブランドー(フランス国立東洋言語文化学院)、林洋子(兵庫県立美術館館長)、ジャン＝セバスチャン・クルーゼル(ソルボンヌ大学)、隈研吾(建築家)

開会の辞：中島厚志((公財)日仏会館理事長)

閉会の辞：トマ・ガルサン(日仏会館・フランス国立日本研究所所長)

*助成：(公財)石橋財団

*協力：日仏会館・フランス国立日本研究所

(1日目：ホール参加48名、オンライン参加177名、2日目：ホール参加66名、オンライン参加157名)

2) 「渋沢栄一とフランス」<100周年記念事業>

(2024年3月7日(木)、8日(金) ホール)

講師：ミシェル・ワッセルマン(立命館大学名誉教授)、鹿島茂(明治大学名誉教授)、島田昌和(文京学院大学)、伊達聖伸(東京大学)、エディ・デュフルモン(ボルドー・モンテーニュ大学)、ベルナール・トマン(フランス国立東洋言語文化学院)、ジャネット・ハンター(ロンドン・スクール・オブ・エコノミクス)、パトリック・フリダンソン(フランス国立社会科学高等研究院)、クリスチャン・ポラック(株式会社セリク社長)、三浦信孝(中央大学名誉教授)、三牧聖子(同志社大学)

討論者：井上潤(渋沢史料館)

司会：トマ・ガルサン(日仏会館・フランス国立日本研究所所長)、ベルナール・トマン、パトリック・フリダンソン、矢後和彦(早稲田大学)

*共同主催：日仏会館・フランス国立日本研究所

*協賛：LVMH モエ ヘネシー・ルイ ヴィトン・ジャパン、FIVES Japon、クレディ・アグリコル・CIB ジャパン

(1日目：127名参加、2日目：79名参加)

3) 日仏会館・フランス国立日本研究所主催の日仏シンポジウム企画については、後出の「協力」に記載

② 日仏文化講座

1) 「ボワソナードと日本法、そして比較法の現状と将来」<100周年記念事業>
(2023年7月1日(土) ホール、オンライン)

報告者：池田真朗(武蔵野大学)、大村敦志(学習院大学)、ベアトリス・ジャリュエーゾ(リヨン大学)、松本英実(青山学院大学)、イザベル・ジロドゥ(東京大学)

司会：山元一(慶應義塾大学)

* 共催：日仏法学会
(ホール参加 31 名、オンライン参加 64 名)

③ 日仏科学講座

- 1) 「形と機能からみた生命科学の最先端——日仏交流の成果」<100周年記念事業>
(2024年1月21日(日) ホール、オンライン)

講師：高橋淑子(京都大学)、尾藤晴彦(東京大学)、有菌美沙(京都大学)、隈元拓馬(東京都医学総合研究所)、松尾龍人(量子生命科学研究所)

司会：丸山達也(東京大学) 浜崎浩子(北里大学)、坂内博子(早稲田大学)

* 共同主催：(公財)日仏会館、日仏生物学会
(ホール参加 8 名、オンライン参加 44 名)

(2) 講演会

① 日仏文化講演シリーズ(月例講演会)

- 1) 「宇宙を旅する——女性天体物理学者と」
(2023年4月24日(月) ホール)

講師：ヤエル・ナゼ(リエージュ大学)

司会：コリーヌ・カンタン(フランス著作権事務所)

* 協力：(株)恒星社厚生閣
(33名参加)

- 2) 「渋沢栄一と日仏会館、国際平和への夢」<100周年記念事業>
(2023年5月29日(月) ホール)

講師：三浦信孝(中央大学名誉教授、(公財)日仏会館顧問)

司会：中地義和(東京大学名誉教授、(公財)日仏会館副理事長)

(50名参加)

- 3) 「フランスとシリア・レバノン——幾重にもアンビバレントな関係」
(2023年6月23日(金) ホール)

講師：黒木英充(東京外国語大学、北海道大学)

司会：平野千果子(武蔵大学)

(32名参加)

- 4) 「労働者階級の消滅? ——20世紀日本における社会問題の変容」<100周年記念事業>
(2023年7月10日(月) ホール)

講師：ベルナール・トマン(日仏会館・フランス国立日本研究所所長)

司会：中地義和((公財)日仏会館副理事長)

* 協力：日仏会館・フランス国立日本研究所
(63名参加)

- 5) 「若手研究者セミナー」
(2023年7月15日(土) 501室)

講師：貝原伴寛(日本学術振興会特別研究員PD)、浜永和希(東京大学)、和田萌(東北大学)

司会：伊達聖伸(東京大学)

(15名参加)

- 6) 「渋沢栄一と孫娘市河晴子——忘れられた天才的文筆家」
(2023年10月17日(火) ホール)
講師：高遠弘美(明治大学名誉教授)
司会：澤田直(立教大学、(公財)日仏会館)
*後援：(公財)渋沢栄一記念財団
(65名参加)
- 7) 憲法講演会「憲法9条の初志と現代の戦争」
(2023年10月24日(火) ホール)
講師：蟻川恒正(日本大学)
司会：山元一(慶應義塾大学)
(32名参加)
- 8) 「戦後メディア産業の現代化を問い直す——日仏比較の視点から」
(2023年10月30日(月) ホール)
報告者：パトリック・フリダンソン(フランス国立社会科学高等研究院)、中村督(北海道大学)、土屋礼子(早稲田大学)
司会：矢後和彦(早稲田大学)
(20名参加)
- 9) カフェトーク「それでもなぜフランス人は日本が好きなのか?——留学と半世紀のパリ生活で気づいた不思議な絆の秘密」
(2023年11月8日(水) ギャラリー)
講師：竹下節子(比較文化史家、バロック音楽奏者)
司会：丸山有美(アトリエ・オルフェ代表)
(39名参加)
- 10) 着任記念講演会「三島由紀夫——その受容と再活性化する批評」
(2023年12月11日(月) ホール)
講師：トマ・ガルサン(日仏会館・フランス国立日本研究所所長)
司会：中地義和((公財)日仏会館副理事長、東京大学名誉教授)
(58名参加)
- 11) 「今、啓蒙の世紀から何を学ぶか」
(2023年12月22日(金) ホール、オンライン)
講師：鷲見洋一(慶應義塾大学名誉教授)、川出良枝(東京大学)
(ホール参加30名、オンライン参加73名)
- 12) 「人権は普遍的か?——日仏の対話」
(2024年2月19日(月) ホール)
講師：ヴァレンティーンヌ・ズベール(高等研究実習院)
討論者：山元一(慶應義塾大学)
司会：伊達聖伸(東京大学)

* 協力：科研費基盤研究（A）20H00003

（63名参加）

- 13) 加藤周一記念講演会「草稿から見えてくるもの——「大江健三郎文庫」開設を記念して」
（2024年3月15日（金） ホール）

講師：安藤宏（東京大学）、村上克尚（東京大学）

司会：中地義和（（公財）日仏会館副理事長、東京大学名誉教授）

（48名参加）

(3) 教養講座等

- ① 日仏会館教養講座「渋沢栄一の時代——世界と日本の歴史のなかで」<100周年記念事業>

（2024年1月23日、30日、2月13日、20日（各火） 501室）

講師：樺山紘一（（公財）渋沢栄一記念財団理事長）

（21名参加）

- ② 食文化講座

上期開催なし

- ③ ビジネス講座

- 1) ビジネスパーソン交流会「日仏香り文化の違い——フレグランスを通して 香りで美しさを感じ、香りで美味しさを楽しむネットワーキング」

（2024年1月25日（木） ギャラリー）

講師：原美智子（長谷川香料（株））

司会：藤原邦一（（株）藤原プロデュース代表）

* 協力：長谷川香料（株）

（38名参加）

(4) コンサート・上映

- ① 映像と講演

- 1) 「ここだけのフランス映画 VI 『レベル5』」

（2023年9月7日（木） ホール）

講師：杉原賢彦（映画批評／目白大学）

司会：渡辺真美（（公財）日仏会館副理事長）

* 共同主催：TMF 日仏メディア交流協会

（33名参加）

- 2) 「ここだけのフランス映画 VII セドリック・カーン『ハッピー・バースデー 家族のいる時間』」

（2023年11月14日（火） ホール）

講師：杉原賢彦（映画批評／目白大学）

司会：渡辺真美（（公財）日仏会館副理事長）

* 共同主催：TMF 日仏メディア交流協会

（33名参加）

- 3) 「ここだけのフランス映画 VIII アルノー・デブレシャン監督『いつわり』」（恵比寿映像

祭 2024 地域連携プログラム)

(2024年2月9日(金) オンライン)

講師：杉原賢彦(映画批評/目白大学)

司会：渡辺真美((公財)日仏会館副理事長)

*共同主催：TMF 日仏メディア交流協会

*協力：セテラ・インターナショナル

(58名参加)

② フランス音楽の夕べ

- 1) 「20世紀フランス音楽の巨匠たち——ドビュッシー、そしてメシアンとデュティユー」

(2023年10月3日(火) ホール)

演奏：金子鈴太郎(チェロ)、長尾洋史(ピアノ)

司会：野平一郎(東京音楽大学学長)

(65名参加)

- 2) 「日仏文化交流に尽力した作曲家たち」日仏会館創立百周年記念シンポジウム「日仏芸術交流の100年」関連コンサートと対談<100周年記念事業>

(2024年1月29日(月) 東京文化会館小ホール)

演奏：クァルテット・エクセルシオ(西野ゆか、北見春菜、吉田有紀子、大友肇)、岡田博美(ピアノ)、入川 舜(ピアノ)

対談：片山杜秀(慶應義塾大学)、野平一郎(東京音楽大学学長)

*共同主催：(公財)日仏会館、日仏音楽協会

*助成：(公財)石橋財団

(会場参加354名、うち招待151名)

③ レクチャーコンサート

- 1) 「クラヴサンを愛した大クーランの音楽」

(2023年6月7日(水) ホール)

講演・演奏：栗形亜樹子(チェンバロ/オルガン奏者、東京藝術大学非常勤講師)

司会：野平一郎(東京音楽大学学長)

(84名参加)

(5) ギャラリー展示

<出版・広報関係>

(1) 書籍出版

① 日仏会館ライブラリー

- 1) 『ボードレール 詩と芸術』《日仏会館ライブラリー》1 中地義和編

水声社 2023年4月刊行 6,600円

2022年6月18日、19日に開催された日仏シンポジウム「ボードレール—詩と芸術—芸術照応の魅惑 5」の書籍化

- 2) 『フランスのイスラーム/日本のイスラーム』《日仏会館ライブラリー》2 伊達聖伸編

水声社 2023年9月刊行 4,950円

2022年7月8日に開催された日仏会館・フランス国立日本研究所主催、(公財)日仏会

館協力のシンポジウム「日仏におけるイスラームと政治的・社会的価値観」の書籍化

- 3) 『レトリックとテロル ジロドゥ/サルトル/ブランショ/ポーラン』《日仏会館ライブラリー》3 澤田直、ヴァンサン・ブランクール、郷原佳以、築山和也編
水声社 2024 年 3 月刊行 4,950 円
2022 年 10 月 14 日、15 日に開催された日本フランス語フランス文学会主催、(公財)日
仏会館共催のシンポジウム「レトリックとテロル：ジロドゥ／サルトル／ブランショ」
の書籍化

② 関連書籍出版

- 1) 『はじまりのバタイユ——贈与・共同体・アナキズム』澤田直・岩野卓司編
法政大学出版局 2023 年 4 月刊行 3,080 円
2020 年 10 月 10 日に開催された日仏文化講座「共同体と贈与——ジョルジュ・バタイユ
の思想から」を元に書籍化

- (2) 会誌『日仏文化』
今年度発行なし

- (3) ニュースレター「NOUVELLES」
170 号、171 号を発行

- (4) イベント案内「Prochainement」
2023 年度 6-7-9 月号、10-11 月号、12-1 月号、2-3 月号、2024 年度 4-5-6 月号発行

- (5) メール版「Prochainement」
(4)の「Prochainement」に合わせて発行する他、臨時にイベント情報を送付
会員 541 件、日仏関連学会 108 件、日仏協会 29 件、関係者・送付希望者 546 件

- (6) ウェブサイトの運営
- ① ウェブサイト (<https://mfjtokyo.or.jp>) (更新随時)
 - ② YouTube 動画公開 31 本、チャンネル登録者 1555 人
 - ③ X (旧 Twitter) フォロワー 1081 人
 - ④ Peatix (<https://fmfj.peatix.com/>) フォロワー 2517 人

2. 公益事業 2：日仏両国の文化・学術研究に関する作品の公募、表彰及びフランス語コンクールを
通じた、文化・学術の振興を目的とする事業

- (1) 第 40 回 渋谷・クロード賞

【日本側】(アルファベット順)

奨励賞：西村晶絵 (静岡県立大学国際関係学部講師)

『アンドレ・ジッドとキリスト教——「病」と「悪魔」にみる「悪」の思想的展開』
(彩流社、2022)

奨励賞：佐藤香寿実 (芝浦工業大学建築学部特任講師)

『承認のライシテとムスリムの場所づくり——「辺境の街」ストラスブールの実践』
(人文書院、2023)

表彰式ならびに受賞記念講演会は2023年7月7日（金）日仏会館ホールにて開催
講演：西村晶絵、佐藤香寿実
挨拶：中島厚志（（公財）日仏会館理事長）、老川祥一（読売新聞グループ本社代表取締役会長・
主筆代理・国際担当）
祝辞：シャルランリ・ブロー（在日フランス大使館文化参事官）
審査結果報告：中地義和（渋谷・クロード賞委員会委員長、（公財）日仏会館副理事長）
*主催：（公財）日仏会館・読売新聞社
*協賛：（公財）渋谷栄一記念財団、（学）帝京大学
*後援：在日フランス大使館
（70名参加）

【フランス側】

アルチュール・デフランス（日本学術振興会外国人特別研究員）
「奈良時代の詩歌文学——中国文学の再創作と日本文学の創作の間」（博士論文）
Arthur DEFRANCE (Postdoctoral Fellowships for Research in Japan, Japan Society for the
Promotion of Science)
« La poésie japonaise de l'époque de Nara. Entre recréation de la Chine et création de la tradition
nationale » (thèse)

表彰レセプションは、2023年11月29日（水）パリの日本大使公邸にて開催
*主催：（公財）日仏会館、フランス国立社会科学高等研究院(EHESS)日仏財団
*協力：日仏会館・フランス国立日本研究所
*協賛：（公財）渋谷栄一記念財団、（学）帝京大学、読売新聞社
*後援：在日日本大使館

(2) フランス語コンクール決勝大会

（2023年11月23日（木・祝）ホール）

第1部門（上級）

- ◎ 日仏会館理事長賞 穴戸真生（東京外国語大学）「閉じ込められていたからこそ広がった世界」
- ◎ 日仏会館百周年記念賞 安用寺玲生（社会人）「変化に直面したとき」

第2部門（中級）

- ◎ 在日フランス大使館／アンスティチュ・フランセ賞 木山亜蓮（渋谷教育学園渋谷高等学校）
「地図——世界への鍵」

第1部門（上級）第2部門（中級）共通

- ◎ 審査員特別賞 仮名せり（カリタス女子高等学校）「国境を越えて」
- ◎ 奨励賞
 - ・ ベルギー大使館賞 佐々木大樹（学習院大学）「私の人生の最悪な出会い？」
 - ・ ケベック州政府賞 志村亜理沙（社会人）「娘を知らぬ父」
 - ・ 日本フランコフォニー推進評議会賞 浦田真莉子（社会人）「言葉の向こう側へ——
多様性の探究」
 - ・ 日本ロレアル賞 重富咲妃（西南学院大学）「旅と私の人生」
- ◎ APEF賞（アルファベット順）
 - ・ 足立航平（東北大学）「2人の教師と、2つの視点」
 - ・ 古川翠子（社会人）「コロナ禍の生活は私たちの日常をどう変えたのか」
 - ・ 辺土名ひかる（IBEI(研究大学院)）「適応と反省——コロナ下の生活」

- ・ 滝沢 摩耶（金沢大学大学院）「私たちにとって、生きる上で大切なことは何か」
- ・ 臼杵みさと（東北大学）「私を支えてくれた全ての方々へ」
- ・ 徐一恒（東海大学）「私と大江健三郎の『個人的な体験』との出会い」
- ・ 山本 由佳（社会人）「人間は社会的動物である——孤立に対する社会的支援の重要性」

* 助成：在日フランス大使館／アンスティチュ・フランセ

* 協賛：ACCORD（パリ語学学校）、CIDEF（アンジェ西部カトリック大学語学学校）、CLA（ブザンソン応用語学センター）、日本ロレアル株式会社

* 協力：在日ベルギー大使館、ケベック州政府在日事務所、(公財)フランス語教育振興協会(APEF)、日本フランコフォニー推進評議会

* 後援：朝日新聞社、日本フランス語フランス文学会、日本フランス語教育学会

3. 公益事業 3：日仏両国の文化・学術研究、教育に従事する団体等との共同事業及び同団体への研究推進を支援する事業

<学術文化事業関連>

(1) 日仏春秋講座

「インド太平洋とは何か?——日仏の視点」 <100周年記念事業>

(2023年7月26日(水) ホール)

講師：クリストフ・ジャフルロ（パリ政治学院/CNRS）、大庭三枝（神奈川大学）

司会：兼原信克（同志社大学）

(53名参加)

(2) 恵比寿映像祭共催シンポジウム

恵比寿映像祭 2024 共催シンポジウム「MOONAGE とテクノロジー・アート」

(2024年2月6日(火) ホール)

講師：クリストフ・シャルル（武蔵野美術大学）、畠中実（NTT インターコミュニケーション・センター[ICC]）

司会：藤原邦一（(株)藤原プロデュース代表）、藤村里美（東京都写真美術館）

* 共同主催：(公財)日仏会館、恵比寿映像祭 [東京都・(公財)東京都歴史文化財団 東京都写真美術館・日本経済新聞社]

* 共催：サッポロ不動産開発（株）

(29名参加)

恵比寿映像祭 2024 「月に行く 30 の方法」(2024年2月2日(金)～18日(日) 東京都写真美術館他オフサイトにて開催。映像祭参加者総数 87,839 名。

(3) 日仏会館学術研究助成

① 日仏学術研究助成

- ・ 日仏生物学会「アミロイド病関連タンパク質が示す原子レベルの挙動に関する日仏共同研究」
- ・ 日本フランス語フランス文学会「レトリックとテロル——ジロドゥ／サルトル／ブランショ」
成果報告のシンポジウムは「共催支援事業」参照

② 日仏学者交換プログラム

- ・ 日仏教育学会：フランソワ・ジルー パリ教職大学院（国立教員教育学院）准教授招聘

<辞退>ジルー教授が家族の病気のため来日できなくなったため。

大鐘敦子研究グループ ベルトラン・マルシャル 旧パリ第4大学-ソルボンヌ大学名誉教授招聘

<辞退>日本学術振興会の外国人研究者招聘枠で2週間の招聘申請が認められたことに伴い（日仏会館の助成枠では1週間程度）、二重助成を避けるため。

- ・ セルアグループ セルア・リュスト=ブルビナ パリ・ディドロ大学連携研究員、パリ政治学院元教員招聘

(4) 日仏関連学会連絡協議会

- 1) 2023年7月18日（火）オンライン開催
- 2) 2023年12月8日（金）対面開催

(5) 首都圏大学意見交換会

2023年7月24日（月）501室にて開催。首都圏16大学のフランス研究関係者が参加。

(6) 日仏文化・学術・教育団体との共同事業、施設貸与

日仏会館・フランス国立日本研究所、日仏関連諸学会、親密団体、在日フランス大使館他、日仏文化・学術。教育団体が主催するシンポジウム・講演会等事業のためのホール、会議室、研究室等を提供。

<共催支援事業>

(1) フランステロワール研究会主催シンポジウム「日欧におけるコモンズとしてのテロワール産品と持続的観光・地域振興——フランスチーズを中心に」

(2023年4月15日（土） ホール)

開会挨拶：廣田功（帝京大学）

報告者：クレール・デルフォス（リヨン第二大学）、フィリップ・ジャンノー（クレルモン=フェラン獣医畜産大学）、陣内秀信（法政大学）、木村純子（法政大学）、山口潮久（EARL Les Noisetiers）、本間るみ子（（株）フェルミエ会長）、森崎美穂子（帝京大学）

司会：谷本都栄（帝京大学沖永総合研究所）

*助成：科研費 19KK0301 国際共同研究加速基金（国際共同研究強化(A)）

(50名参加)

(2) フランス語婦人会主催講演会「ピエール・スーラージュと日本」

(2023年4月19日（水） ホール)

講師：マチユー・セゲラ（歴史家）

司会：カロール・ランジュリエ（フランス語婦人会）

(46名参加)

(3) 日仏法学会主催シンポジウム「日仏法学交流の過去と現在」<100周年記念事業>

(2023年4月25日（火） ホール)

講師：ローラン・ルヴヌール（パリ第2大学）、サビーヌ・マゾール=ルヴヌール（パリ第12大学）、マリー・ルヴヌール=アゼマール（レユニオン大学）

通訳：大澤逸平（専修大学）、平野秀文（千葉大学）

司会：大村敦志（学習院大学）

*後援：（公財）社会科学国際交流江草基金

(ホール参加 37 名、オンライン参加 30 名)

- (4) 日仏教育学会主催シンポジウム「大学の都市史と建築史——「大学空間」の学際的アプローチ」
(2023 年 6 月 6 日 (火)、8 日 (木) ホール)
講師：ロイック・ヴァドロルジュ (ギユスターヴ・エッフェル大学)、エレオノール・マランツ (パリ第 1 大学)
討論者：中野隆生 (学習院大学元教授)、木方十根 (鹿児島大学)
司会：大前敦巳 (上越教育大学)
* 共催：(公財) 日仏会館、日仏歴史学会
* 助成：科研費 (基盤研究 B) 22H01023「大学と都市の相互浸透性に関する日仏比較関係史研究」
(6 日参加 15 名、8 日参加 15 名)
- (5) ルネサンス・フランセーズ日本代表部 (RFJ) 主催講演会「日仏出版交流——1950 年代から今日までの変化——文芸代理店経営者兼翻訳家の現場から」
(2023 年 6 月 29 日 (木) ホール)
講師：コリーヌ・カンタン (フランス著作権事務所)
司会：瀬藤澄彦 (ルネサンス・フランセーズ日本代表部会長)
(32 名参加)
- (6) TMF 日仏メディア交流協会主催シンポジウム「パリの空の下ジャズは流れる」
(2023 年 7 月 6 日 (木) ホール)
講師：宇田川悟 (作家)
司会：渡辺真美 ((公財) 日仏会館副理事長)
* 協力：日仏経済交流会 (パリクラブ)
(63 名参加)
- (7) 日本ルネサンス・フランセーズ日本代表部 (RFJ) 主催講演会「ミッテランからマクロンまで——パリ特派員生活 30 年」
(2023 年 7 月 21 日 (金) ホール)
講師：山口昌子 (ジャーナリスト、元産経新聞パリ支局長)
司会：岡真理子 (帝京大学)
挨拶：瀬藤澄彦 (ルネサンス・フランセーズ日本代表部会長)
* 共催：(公財) 日仏会館、日仏経済交流会 (パリクラブ)、TMF 日仏メディア交流協会
* 協力：藤原書店
(102 名参加)
- (8) ベルトラン・マルシャル教授招聘グループ主催講演会「詩と散文のはざまに——『サロメ』出版 130 周年記念講演会」
(2023 年 9 月 19 日 (火) ホール)
講師：ベルトラン・マルシャル (ソルボンヌ大学名誉教授)
司会・討論者：大鐘敦子 (関東学院大学)
挨拶：中地義和 ((公財) 日仏会館副理事長)
(65 名参加)
- (9) 在日フランス大使館主催シンポジウム「日仏対話「芸術と科学」——日仏協力によって新たな展望

を切り開く」

(2023年9月29日(金) ホール)

挨拶：ディディエ・マルティ＝ドシュ (在日フランス大使館、科学文化技術参事官)、エチエンヌ・ブルゴワ (アニエスベー、タラオセアン財団代表理事)

報告者：シルバン・アゴスティーニ (筑波大学、(一社)タラオセアンジャパン)、パトゥイエ由美子 ((一社)タラオセアンジャパン)

討論者：大澤啓 (東京大学)、ティモテ・ムテルドゥ (東京大学)、田中佐代子 (筑波大学)、大小島真木 (アーティスト)

司会：日比野克彦 (東京藝術大学学長、アーティスト)

*共催：(公財)日仏会館、(一社)タラオセアンジャパン

*協力：ロート製薬(株)、アニエスベージャパン(株)、ヴェオリア・ジャパン(株)

(85名参加)

(10) 日本フランス語フランス文学会主催シンポジウム「レトリックとテロル：ジロドゥ／サルトル／ブランショ」

(2023年10月14日(土)、15日(日) ホール)

発表者：間瀬幸江 (宮城学院女子大学)、中村典子 (甲南大学)、田ノ口誠悟 (国際基督教大学)、ヴァンサン・ブランクール (慶應義塾大学)、アンドレ・ジョブ (グランゼコール準備学級名誉教師)、澤田直 (立教大学)、ジル・フィリップ (ローザンヌ大学)、渡辺 惟央 (慶應義塾大学)、市川崇 (慶應義塾大学)、郷原佳以 (東京大学)、築山和也 (慶應義塾大学)、クリストフ・ピダン (ピカルディー大学)

司会：田ノ口誠悟、間瀬幸江、市川崇、澤田直

*協賛：慶應義塾大学、東京大学郷原佳以研究室、立教大学澤田直研究室

(14日参加29名、15日参加50名)

(11) ルネサンス・フランセーズ日本代表部主催講演会「現代世界におけるフランス語の現状と展望——英語優位と多様性のなかのフランス語」

(2023年12月5日(火) ホール)

講師：ジャン＝ルイ・ロワ (世界フランス語圏機構元事務局長)

討論者：三浦信孝 (中央大学名誉教授、(公財)日仏会館顧問)

司会：瀬藤澄彦 (ルネサンス・フランセーズ日本代表部会長)

*後援：日本フランコフォニー推進評議会、ケベック州政府在日事務所、フランス語婦人会

(78名参加)

(12) TMF 日仏メディア交流協会主催「「まんが」にとってのフランス」

(2024年1月17日(水) ホール)

講師：キム・ブデン (Ki-oon 東京オフィス代表)、ジャメル・ラバイ (翻訳家)、ティボー・デビエフ (翻訳家)

司会：大野博人 (TMF 日仏メディア交流協会会長)

*協力：日仏経済交流会 (パリクラブ)、ルネサンス・フランセーズ日本代表部

(40名参加)

(13) セルア・リュスト＝ブルピナ氏招聘グループ主催セミナー「フランスにおけるポストコロニアル研究——ジェンダーと植民地」

(2024年2月18日(日) 501室)

講師：セルア・リュスト＝ブルピナ（パリ・シテ大学）

討論者：稲葉奈々子（上智大学）

司会：増田一夫（東京大学名誉教授）

*協力：日仏会館・フランス国立日本研究所、科研費基盤研究（B）20H04419
（35名参加）

- (14) 日仏東洋学会主催講演会「二千年ぶりに解読されたブツダの意識生成分析——仏教と人類にとってのその重要性」

（2024年3月23日（土） 501室）

講師：入澤崇（龍谷大学学長）、中谷英明（東京外国語大学名誉教授・龍谷大学特別顧問）、村井俊哉（京都大学）、マルク＝アンリ・デロッシュ（京都大学総合生存学館）

司会：小関武史（一橋大学）

*共催：（公財）日仏会館、龍谷大学、科研費基盤研究（B）23H00566
（501室参加10名 オンライン参加70名）

<協力支援事業>

- (1) 日仏会館・フランス国立日本研究所、地球システム・倫理学会・Wakatakeの会主催「ドキュメンタリー映画「失われた時の中で(Long Time Passing)」上映会および討論会」

（2023年6月28日（水） ホール、オンライン）

討論者：坂田雅子（映画監督）、山極壽一（総合地球環境学研究所所長）

司会：近藤誠一（総合地球システム・倫理学会会長）

*協力：（公財）日仏会館、日仏東洋学会、日仏生物学会、日仏教育学会
*後援：日仏薬学会

- (2) 日仏会館・フランス国立日本研究所主催シンポジウム「責任の概念——個人から制度へ フランスと日本における考察、行動、論争」<100周年記念事業>

（2023年7月12日（水）、13日（木） ホール）

講師：ジル・カンパニョーロ（フランス国立科学研究センター、パリ第1大学）、井上達夫（東京大学）、山元一（慶應義塾大学）、ライナ・ドロツツ（東京大学）、マリ・エリップ（パリ第2大学）、ジェローム・ペリス（パリ政治学院）、一原雅子（京都気候変動適応センター）、ディミトリ・ヴァンオーヴェルベーク（東京大学）、アンヌ・ゴノン（同志社大学）、ジャンルイ・マクイヤール（弁護士）、アントワヌ・リヨン＝カーン（ナンテール大学）、水町勇一郎（東京大学）、浅倉むつ子（早稲田大学）、坪由美子（弁護士）、リオラ・イスラエル（フランス国立社会科学高等研究院）

司会：アドリエヌ・サラ（日仏会館・フランス国立日本研究所）、アンヌ・ゴノン、一原雅子、ジェローム・ペリス

*協力：（公財）日仏会館、東京大学

*後援：フランス国立社会科学高等研究院、野村財団、フランス財団、フランス国立科学研究センター

- (3) HEC 経営大学院主催講演会「欧州の未来は？ 拡大と深化の間で」

（2024年1月15日（月） ホール）

報告者：アルベルト・アレmano（HEC 経営大学院）

討論者：庄司克宏（慶應義塾大学名誉教授）、中西優美子（一橋大学）

司会：アドリエヌ・サラ（早稲田大学）

*共催：日仏会館・フランス国立日本研究所

*協力：(公財)日仏会館、日仏経済交流会

- (4) 日仏会館・フランス国立日本研究所、セルア・リュスト=ブルビナ氏招聘グループ主催講演会
「ファノン——植民地支配下における、人種、ジェンダー、人間的実存」

(2024年2月16日(金) ホール)

講師：セルア・リュスト=ブルビナ (パリ・シテ大学)

討論者：鶴飼哲 (一橋大学名誉教授)

司会：澤田直 (立教大学、(公財)日仏会館)

*協力：(公財)日仏会館、科研費基盤研究(B)20H04419

- (5) 第39回渋沢・クローデル賞 (フランス側) 受賞記念講演会「前期倭寇の航海ルートと航海技術」
(2024年2月26日(月) ホール)

講師：ダミアン・プラダン (ボルドー・モンテーニュ大学)

司会：トマ・ガルサン (日仏会館・フランス国立日本研究所所長)

*主催：日仏会館・フランス国立日本研究所

*協賛：(公財)渋沢栄一記念財団、学校法人帝京大学

*協力：(公財)日仏会館、フランス国立社会科学高等研究院・日仏財団

*後援：在日フランス大使館、読売新聞社

- (6) 日仏女性研究学会主催国際女性デー記念シンポジウム「性と教育——日仏比較の視点から」
(2024年3月2日(土) ホール)

報告者：アンヌ=クレール・カシウス (名古屋外国語大学)、押田千明 (日仏女性研究学会)、岩本美砂子 (三重大学名誉教授)、アリーヌ・エニンジェ (オルレアン大学)

司会：新行内美和 (日仏女性研究学会)、マルコ・ソッティエーレ (慶應義塾大学)、永澤桂 (横浜国立大学)、辻山ゆき子 (共立女子大学)、中村彩 (立教大学)

4. その他事業

- (1) 各地日仏協会との交流

各地日仏協会との交流会

(6月15日(木)メゾンプルミエール、参加63名)

- (2) 親睦会

日仏会館創立100周年記念式典

(3月1日(金)明治記念館、参加196名)

5. 収益事業：公益目的事業に資する財源確保のため、会館内スペースの賃貸及び公益目的 使用時間外の会館施設の貸与事業

店舗スペース賃貸並びに公益目的使用時間外のホール・会議室・ギャラリー、駐車場スペースの
貸与

6. 管理業務

- (1) 会議の開催

・理事会

① 2023年5月31日(水)

2022年度事業報告・収支決算の件

任期满了に伴う理事推薦の件

評議員会の日時及び場所並びに目的である事項等の件

業務執行理事の職務執行報告

② 2023年11月1日(水)
2023年度上期事業・予算執行状況報告の件
業務執行理事の職務執行報告

③ 2024年2月21日(水)
2024年度事業計画・収支予算の件
役員等改選に伴う選定委員推薦の件
諮問委員推薦の件
評議員会の日時及び場所並びに目的である事項等の件
業務執行理事の職務執行報告

・評議員会

① 2023年6月9日(金)
2022年度事業報告・収支決算の件
任期満了に伴う理事選任の件
日仏会館・フランス国立日本研究所 2022年度事業報告・収支決算報告の件

② 2024年3月8日(金)
2024年度事業計画・収支予算の件
役員等改選に伴う選定委員選任の件
諮問委員選任の件
日仏会館・フランス国立日本研究所 2024年度事業計画・収支予算の件

・常務役員会(月例)

・委員会

学術・文化事業委員会(月例)、渋沢・クロード賞委員会(随時)、総務委員会(月例)

(2) 役員等名簿(2024年3月31日現在、敬称略、abc順)

総裁	常陸宮殿下
名誉総裁	駐日フランス大使 Philippe SETTON
名誉理事長	福井憲彦、樋口陽一、松浦晃一郎
顧問	三浦信孝、柳井準
理事長	中島厚志
副理事長	中地義和、渡辺真美
常務理事	川出良枝、河口淳子、三浦篤、西昭宏、澤田直、山元一
理事	林玲子、林洋子、平野千果子、中江剛介、大村敦志、大野博人、Christian POLAK、 杉山直人、塚本昌則、山本博幸、吉澤正浩
監事	五十嵐敬喜、野口真有美
評議員	Charles-Henri BROSSEAU、飯村 豊、Muriel JOLIVET、金澤千鶴子、 北島元治、北村一郎、古石篤子、西川恵、西村篤子、岡眞理子、岡本和夫、 塩川徹也、杉浦勉、滝澤正、辻村みよ子、渡邊啓貴、横山悠喜、吉井篤志、 吉岡知哉
諮問委員	Jean BARTHELEMY、Hubert De MESTIER Du BOURG、Laurent DUBOIS、 Tomas GARCIN、稲畑勝太郎、磯村尚徳、北原隆、Michel LACHAUSSÉE、 Norbert LEURET、小倉和夫、老川祥一、大井孝、為永清嗣

(3) 会員数 (2024年3月31日現在) *前期末:2023年3月31日

種 類	前期末(a)	入会者	退会者	当期末(b)	差異(b)-(a)
通常会員	622	28	49	601	△21
家族会員	45	0	6	39	△5
学生会員	7	0	2	5	△2
終身会員	83	4	7	80	△3
(個人会員計)	757	32	64	725	△32
賛助会員	73	0	4	69	△4
合計	830	32	68	794	△36

※学生オンラインメンバーシップ制度は廃止

以上